

平成29年度全国学力学習状況調査より

～ 結果・分析・対策 ～



平成29年9月

日南町立日南中学校



平成29年度全国学力学習状況調査より

～ 結果・分析・対策 ～

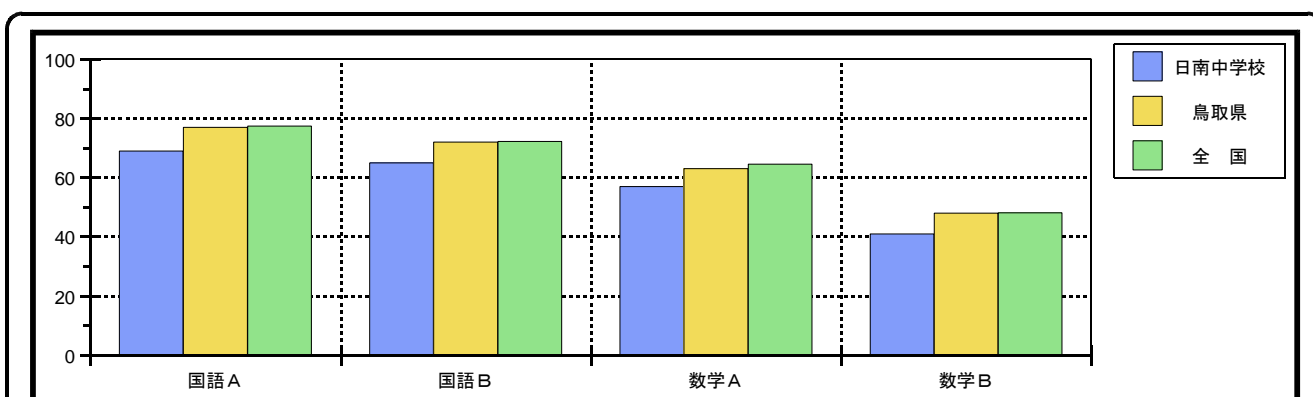
日南町立日南中学校

実施日	平成29年4月18日(火)
対象	全国の中学校3年生全員 (日南中26名)
※ A問題	知識を測る問題
※ B問題	活用力を測る問題

I 身につけさせたい力・資質として(学校重点目標より)

- 基礎・基本の徹底による学力の定着と向上
- 同和教育を基盤にした豊かな心と人間性の醸成
- 「ともいき科」をはじめとする特色ある教育活動の展開
- 一人ひとりの個性の慎重
- メタ認知による自尊感情、自己肯定感、自己有用感の充実

II 教科の学力状況について(学力調査より)



【国語】

A、Bともに全体としては、県平均・全国平均ポイントを下回りました。

A問題においては、小学校6年生時の調査でも『読むこと』領域に関する程度の差が大きく、あり、今年度も他の領域と比べてまだ若干の差があります。「目的に応じて情報を読み取る」「文章の構成や展開、表現の仕方を読み取り、自分の考えを持つ」という課題が十分ではない傾向が見られます。そのことは『書くこと』領域とも関連し、「読み取ったことをまとめる」「簡潔にわかりやすく書く」ことを求められた問題に個人差が大きく見られました。

B問題では『言語についての知識・理解・技能』領域は、県・全国平均正答率を上回る正答率でした(小6時：-15P)。しかし、『読むこと』『書くこと』『話すこと・聞くこと』のそれぞれの領域が関わり合って『活用できる学力』を測るB問題では、全体的に県平均・全国平均と比較して低い結果でした。

【数学】

A、Bともに全体として、県平均・全国平均ポイントを下回りました。

小学校6年生時の調査でも、県・全国平均と比較してA問題、B問題ともに大きな差があり、依然として苦手意識が強い傾向にあります。よって、「数学的な見方や考え方」「数学的な技能」の観点、領域では『関数』『資料の活用』において課題が見られます。また、ポイントに差が出る問題については、「無回答率」の割合も高く、「記述式」の回答についても誤答に加えて「無回答」が多く見られます。得点分布を見ると、A問題では上位(中間)層と下位層との二極化、B問題では、上位層は少なく下位層が比較的多いという分化が見られました。生徒数も少ないため、平均点や中央値だけで生徒の学力を単純に判断することはできません。個々の結果からさらに課題の捉えが必要だと考えられます。

◆学力の状況に関する質問紙調査の回答結果（抜粋）より

(60) 授業中の話し合い、発表は積極的ですか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 87.5	12.5
鳥取県	77.9	21.1
全国	71.3	29.7

(63) 授業のねらいはわかっていますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 100.0	0
鳥取県	93.9	6.1
全国	87.8	12.2

(80) 数学の勉強は好きですか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 75.0	25.0
鳥取県	54.8	45.2
全国	55.7	44.3

(81) 数学の勉強は大切だと思いますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 91.7	8.3
鳥取県	82.2	17.8
全国	81.1	18.9

(84) 数学であきらめずに解き方を考えますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	▲ 70.9	29.1
鳥取県	75.5	24.5
全国	73.5	26.5

(87) 数学でもっと簡単に解く方法を考えますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	▲ 58.4	41.6
鳥取県	69.4	30.6
全国	71.2	28.8

(91) 国語の解答時間は十分でしたか？(A B 平均)

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	▲ 64.6	35.4
鳥取県	89.8	10.2
全国	90.2	9.8

(93) 数学の解答時間は十分でしたか？(A B 平均)

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	▲ 56.3	43.7
鳥取県	82.7	17.3
全国	83.1	16.9

上記の回答結果の●からは、学習への意欲や興味関心は決して低くはないことが伺えます。しかし、▲からは、苦手な分野や領域に対しての学習の工夫が不足していることがわかります。効率のよい学習の仕方やポイントを押さえた学習、自分の苦手なができていないことが、早々にあきらめてしまったり、必要以上に時間をかけてしまい、結果として解答にまで至らないといった状況を生んでいるのではないかと考えます。学校では、丁寧に学習の仕方を定着させたり、家庭学習の習慣化につなげる方策をさらに充実させたいと考えています。

(15) 平日（月～金曜日）に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか？（塾も含む）

%	3時間以上	2時間以上	1時間以上	30分以上	30分以下	全くしない
日南中学校 (人数：約)	0	▲ 12.5 (3.3人)	▲ 25.0 (6.5人)	25.0 (6.5人)	▲ 25.0 (6.5人)	▲ 12.5 (3.3人)
鳥取県	6.0	24.1	38.1	17.8	9.2	4.6
全国	10.1	25.3	34.2	17.2	8.3	4.9

(16) 休日（土～日曜日）に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか？（塾も含む）

%	4時間以上	3時間以上	2時間以上	1時間以上	1時間以下	全くしない
日南中学校 (人数：約)	0	0	25.0 (6.5人)	20.8 (5.4人)	▲ 45.8 (11.9人)	▲ 8.3 (2.2人)
鳥取県	4.6	13.6	27.4	28.6	19.0	6.8
全国	5.7	12.1	24.0	27.6	20.4	10.0

(12) 平日に、1日あたりどれくらいの時間、テレビ、ビデオ、DVDを見たり聞いたりしますか？

%	4時間以上	3時間以上	2時間以上	1時間以上	1時間以下	全くしない
日南中学校	▲16.7	▲29.2	12.5	20.8	16.7	4.2
鳥取県	12.4	15.0	25.2	30.0	15.5	2.0
全国	12.0	13.3	23.8	30.1	18.3	2.4

(28) テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか？

%	決めている	だいたい決めている	あまり決めていない	決めていない
日南中学校	8.3	8.3	▲37.5	▲45.8
鳥取県	15.4	19.7	29.9	34.9
全国	14.8	19.2	29.8	36.2

▲のように、家庭学習の時間の不足は大きな課題です。学校では家庭学習の内容ややり方が明確化、具体化されていないことも要因の一つだと考えています。宿題を確実にすること、毎日放課後に実施しているPT（パワーアップタイム）、テスト前のLPT（ロングPT）の学習課題を、繰り返し家庭での学習につなげる取り組みを定着させようとしています。家庭でも学習課題として「PTプリント」があることを知っていただいで声かけをしていただいたり、家庭での過ごし方についてのルールや約束事を子どもと一緒に考え、生徒と一緒に家庭での学習の様子や過ごし方を考えていただくことが大切だと思います。

(6) 自分にはよいところがあると思いますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	●83.3	●16.6
鳥取県	73.2	26.5
全国	70.7	29.1

[小6の時の同じ質問項目への回答]

%	肯定的選択	否定的選択
小6年当時	72.0	28.0
鳥取県	78.4	21.5
全国	76.1	23.7

(10) 将来の夢や希望を持っていますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	75.0	25.0
鳥取県	69.9	29.9
全国	68.5	29.3

[小6の時の同じ質問項目への回答]

%	肯定的選択	否定的選択
小6年当時	92.0	8.0
鳥取県	81.9	18.0
全国	86.9	13.1

(55) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	●100.0	0
鳥取県	92.9	6.9
全国	91.9	7.8

(4) 物事を最後までやり遂げて嬉しかったことがありますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	●100.0	0
鳥取県	95.4	4.6
全国	94.7	5.3

自尊感情や自己有用感は、さまざまな体験や活動の中で育まれ、成功体験として積み重ねられることで定着するものです。●からは、「ともいき科」など特色のある教育活動において、生徒たちの活動・活躍の場が自主性や積極性の伸長、自己有用感の高揚につながっているのではないかと考えています。(11)「授業で学んだことを他の学習や生活に生かしているか？」では95.8%（県：73.1%）(7)「自分の考えや意見を発表することは得意ですか？」では58.3%（県：52%）の肯定的回答があり、学校生活の中でのさまざまな経験の積み重ねが、学力向上への効果的な相互作用となることを期待しています。

Ⅲ 学校・家庭生活状況について [質問紙調査の回答結果 (抜粋) より]

(35) 学校に行くのは楽しいと思いますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 87.5	12.5
鳥取県	82.6	17.4
全国	80.9	19.1

(36) 学校で友達に会うのは楽しいと思いますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 95.9	4.1
鳥取県	95.4	4.6
全国	94.6	5.3

(37) 学校で好きな授業がありますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 91.7	8.3
鳥取県	78.3	21.6
全国	79.2	20.6



学校生活に関する質問項目においては、概ね肯定的な回答が多い傾向にありました。多くの生徒が友達との人間関係も良好で、(10)「将来の夢や希望を持っていますか？」での肯定的回答75%と合わせて、前向きな学校生活を送っていると考えられます。

ただ、思春期・心の成長期でもある中学生ですので、友達とのトラブルがあったり、一人で悩みを抱えることもあるのは、ある意味では当然のこととも言えます。それをどのように乗り越える(乗り越えさせる)のかが、この時期のとても大切な学び・体験だと思います。周囲のサポート体制を充実させながら、生徒の自立・自律・協調性を育ててやりたいと思います。

学校においては教育相談を充実させたり、SC(スクールカウンセラー)、SSW(スクールソーシャルワーカー)などの心理や医療との連携が図れる体制も整えています。保護者の方からの相談も受け入れていきますので、安心してご相談下さい。

(1) 朝食を毎日食べていますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	● 100.0	0
鳥取県	94.6	5.4
全国	93.2	6.8

(2) 毎日同じくらいの時間に起きていますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	87.5	12.5
鳥取県	92.6	7.3
全国	92.4	7.5

(2) 毎日同じくらいの時間に寝ていますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	78.9	20.9
鳥取県	78.5	21.5
全国	75.6	24.3



例年の傾向として、朝食の摂取、起床、睡眠といった規則正しい生活は概ねよい傾向にあると言えます。ただし、前段でも挙げたように、家庭での学習時間が短く、テレビやビデオ、DVDの視聴時間やゲーム、インターネット、メールをする時間が、県や全国より若干長いこととの関係性を考えると、家庭での有効な時間の使い方、計画性が大きな課題とも言えます。

また、(19)「本を読んだり、借りたりするために学校や地域の図書館にどれくらい行きますか？」という問いに、「年に数回」「ほとんど行かない」生徒が約75%もありました。全国の調査から、生活習慣や読書週間と学力には相関関係があることが証明されています。したがって、本校においても望ましい生活習慣の徹底について引き続き取り組んでいきたいと考えています。

(42) 地域の行事に参加していますか？

%	肯定的選択	全くしない
日南中学校	● 70.9	8.3
鳥取県	50.6	23.7
全国	42.1	30.9

(43) 地域や社会の問題や出来事に関心がありますか？

%	肯定的選択	否定的選択
日南中学校	66.6	33.4
鳥取県	60.4	39.6
全国	59.2	40.7

(48) テレビのニュース番組やインターネットの？
ニュースを見ますか？

%	肯定的選択	全く見ない
日南中学校	● 91.7	8.3
鳥取県	85.9	5.2
全国	86.7	4.4

(49) 外国の人と友達になったり、外国ことについてもっと知りたいですか？

%	肯定的選択	全く思わない
日南中学校	▲ 45.8	16.7
鳥取県	62.1	16.3
全国	64.3	15.9

(50) 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就きたいと思いませんか？

%	肯定的選択	全く思わない
日南中学校	16.6	▲ 50.0
鳥取県	26.8	42.1
全国	32.9	37.4



例年、地域行事への参加や地域との関わりは高い傾向にあります。しかし、生徒数の減少、高齢化は各地域（旧小学校区）でも進んでおり、地域でのそれぞれの世代の関係性が以前とは大きく変化してきている事実もあります。生徒たちにとって、学校での教師、地域での大人がどのように関わっていくかが、生徒の人間性や社会性の育成に大きく関わってくると思います。

近年では、「ともいき科」として京都大学留学生との交流、シアトル市中学生との交流、また町としての海外派遣事業も行っています。英語や海外に対する興味は徐々に高まっていると感じますが、最初のチャレンジ（例えば会話をする積極性、間違ってもよいという感覚、一人でも何とかしようとする気持ちなど）が弱く、思わず尻込みしたり、躊躇するような場面もあることが残念です。「国際交流」に関するだけでなく、さまざまな体験によって「ともいき科」でめざす力である『コミュニケーション力（会話・交流）』・『コラボレーション力（協力・協調）』・『プレゼンテーション力（表現・創造）』の育成に努めていきたいと思えます。

IV 学力向上及び対策

日南中学校の教育目標『ふるさとに学び、夢に向かい、生き生きと輝く生徒の育成』の達成に向けて、「学習活動」・「育心活動」・「健康安全活動」の視点から、以下のような取り組みを継続的に進めています。昨年度から、PTやLPTの徹底と充実を図り、今年度はさらにその定着度を高めたり、内容の充実を図ったりしています。



生徒たちの日々の状況や今年度及び過去の調査等から分析される日南中の課題などを参考にしながら、小学校とも協働して継続的に取り組んでいるものもあります。

【学習活動】

(1) 授業改善

[次のような授業をめざし、小学校とも連携を図りながら研修を行い、生徒のにとってわかりやすい(「わかる」)実感の持てる授業の工夫・改善に取り組んでいます。]

- 分かったことを友だちに説明することで理解をさらに深めることができる授業
- 自分の考えを説明しきるような発表を重視した授業
- ICT機器を利用して興味・関心を喚起し、理解を一層図る授業
- 誰にとってもわかりやすい授業(目標の明確化、予定の提示、板書の工夫等)
- 学習事項がより定着する授業(小テスト、前時の振り返り、宿題等)
- 自己効力測定尺度(学習への興味・関心を見える化する)、ジグソー法(協調学習)ペア学習(関わり合いながら隣同士で聴きあえる学習)の基盤にした授業

(2) 学習習慣の定着・学習内容の充実

[家庭学習の習慣の未定着、家庭学習の時間の不足が大きな課題です。毎日の積み重ねや家庭での学習を明確に(何をしたらよいのかをはっきりさせる)するために具体的に取組みんでいます。]

○P. T (パワーアップタイム) の充実 15:30~16:00

5教科に限定して、毎日30分間、教師が作成した課題(定期テストに出題される内容)に取り組んでいます。日々の学習の積み重ねの習慣化と効果の実感(定期テストでのポイントを確認)をねらいとしています。

○L. P. T (ロングパワーアップタイム) の充実 15:30~16:20

定期テスト前の部活動停止の際に、P. Tの時間を延長して取り組みます。各自でテスト勉強の計画を立て、教師への質問や教え合いなどをしながら進めます。

○アフタースクール 16:30~18:00

自学自習を原則としますが、定期テスト前、または3年生は放課後に残って学習を続けるように勧めています。自宅では集中力に欠ける、友達に教えてもらいたい、先生に質問したいなど、学習意欲の定着を図っています。

○テスト勉強計画の作成(計画・実行・修正)

テスト勉強で自分がすべき教科、内容、時間、方法を自分で立てます。P. TやL. P. Tの日程を考えたり、テスト範囲にピンポイントで対応する課題を示すことにより、一人ひとりがより明確で、具体的な学習を進めることができます。

○家庭学習がんばるウィークの設定

定期テスト前などの一定期間を「がんばるウィーク」と設定し、集中的に家庭学習をすすめる啓発活動を行っています。家庭や地域でも積極的にご協力を頂きたい取り組みです。

【育心活動】・【ともいき科】

(1) 仲間づくり

[各学年単学級となる現状の中で、小学校からつながる人間関係・仲間関係を順調に、円滑に、上手に活かせる仲間づくりを進めています。]

○学校行事の活用した企画力・運営力

体育祭、文化祭を通して生徒の自主性、積極性を養います。その中で縦割りのつながりや学級・学年のつながりを体感し、よりよい仲間づくりを進めます。

○発表の場で活かすプレゼンテーション力・コラボレーション力

あらゆる機会をとらえて、自分の考えや気持ちを多くの人の前で話すことができる力、表現力の育成に努めます。日常生活の中でも臆せず話したり、接したりできることが自信にもつながると感じています。

(2) 自尊感情・自己効力感・自己肯定感の高揚

「自分にはよいところがある」「他者から認められていると思う」という思いが少しずつ向上しつつあります。さまざまな場面を通して、自信を持たせたり、喜びを感じさせたりすることが、よい成果・効果につながると考えています。



【健康安全活動】

(1) 規則正しい生活習慣の育成

[生活習慣と学力には相関関係があります。食事、睡眠、余暇の過ごし方、学校生活の過ごし方など、学校においても望ましい生活習慣の徹底について引き続き取り組んでいきます。]

○生活習慣がっちりWEEK・生活習慣アンケート

学習や良好な人間関係の基礎となる生活習慣をしっかりと身につけるために、朝食や睡眠について、自分の生活を点検します。

○教育相談活動

一人ひとりの生徒の実態把握に努め、信頼関係を築いた上で、生徒の悩みや困り感に寄り添った支援が大切だと考えています。

